

平成 20 年度 琉球大学 2 次試験前期日程 (数学問題)

理・工・医・農・教育学部 平成 20 年 2 月 25 日

- 理・工・医・教育 [数学] 学部は, [1] ~ [4] 数 I・II・III・A・B・C (120 分)
- 農・教育 [理科教育・技術教育・学校心理学・児童教育・生涯教育・情報教育
コース・教育カウンセリング A 群] 学部は, [5], [6] 数 I・II・A・B (60 分)

[1] 行列 $A = \begin{pmatrix} a & 2a \\ a-3 & a-4 \end{pmatrix}$ は, $A^2 = O$ を満たす. ただし, O は零行列である.

- (1) a の値を求めよ.
- (2) $B = 2E + A$ とおく. ただし, E は単位行列である. 自然数 n に対して, B^n を求めよ.

[2] $\sqrt{x} + \sqrt{y} = 1$ で表される曲線を C とする.

- (1) 曲線 C の凹凸を調べ, その概形を図示せよ.
- (2) 曲線 C 上の点 $P(a, b)$ ($0 < a < 1$) における接線 l の x 切片, y 切片をそれぞれ a を用いて表せ.
- (3) (2) において点 P が曲線 C 上を動くとき, P における接線 l と x 軸および y 軸で囲まれた図形を x 軸の周りに 1 回転させてできる立体の体積の最大値を求めよ.

[3] O を原点とする座標空間内に n 個の点 $P_k \left(\frac{k}{n}, 2 - \frac{k}{n}, 0 \right)$ ($k = 1, 2, \dots, n$) をとる. また, z 軸上に点 Q_k を, 線分 $P_k Q_k$ の長さが 2 になるようにとる. ただし, Q_k の z 座標は正とする.

- (1) 三角形 $OP_k P_{k+1}$ の面積を求めよ. ただし, $1 \leq k \leq n-1$ とする.
- (2) 三角錐 $OP_k P_{k+1} Q_k$ の体積 V_k を求めよ. ただし, $1 \leq k \leq n-1$ とする.
- (3) $I = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^{n-1} V_k$ とおくととき, I を積分定数を用いて表せ. ただし, $V_0 = 0$ とする.
- (4) I の値を求めよ.

4 r を 9 以上の整数として、赤球 r 個と白球 10 個が入っている袋がある。この袋から 9 個の球を同時に取り出し、そのうちの赤球の個数を調べ、取り出した球に白球を 1 個加えて袋に戻すという試行を繰り返す。つまり、1 回の試行ごとに袋の中の白球が 1 個ずつ増えることになる。 n 回目の試行において取り出された 9 個の球のうち、赤球がちょうど 4 個である確率を P_n で表す。

- (1) $P_1 < P_2$ が成り立つことを示せ。
- (2) $P_n < P_{n+1}$ が成り立つための n の範囲を r を用いて表せ。
- (3) $r = 50$ のとき、 P_n が最大となる n の値を求めよ。

5 次の問いに答えよ。

- (1) 次の方程式を解け。ただし、 i は虚数単位、 x は実数とする。

$$(1+i)x^2 - (1+3i)x - 2 + 2i = 0$$

- (2) 次の方程式を解け。

$$\log_4(4x-7) + \log_2 x = 1 + 3\log_4(x-1)$$

- (3) 3 点 $O(0, 0)$, $A(t, 0)$, $B(0, 1-t)$ ($0 < t < 1$) を頂点とする三角形 OAB を、 x 軸の周りに 1 回転させてできる円錐の体積の最大値と、そのときの t の値を求めよ。

6 $\triangle ABC$ は、 $\tan A = \frac{4}{3}$, $BC = 6$ を満たしているものとする。ただし、 $A = \angle BAC$ とする。

- (1) $\sin A$ および $\cos A$ の値をそれぞれ求めよ。
- (2) $\triangle ABC$ の外接円の半径を求めよ。
- (3) $\triangle ABC$ の面積の最大値と、そのときの辺 AB の長さを求めよ。

正解

$$\begin{aligned}
 \boxed{1} \quad (1) \quad A^2 &= \begin{pmatrix} a & 2a \\ a-3 & a-4 \end{pmatrix} \begin{pmatrix} a & 2a \\ a-3 & a-4 \end{pmatrix} \\
 &= \begin{pmatrix} 3a^2 - 6a & 4a^2 - 8a \\ 2a^2 - 10a + 12 & 3a^2 - 14a + 16 \end{pmatrix} \\
 &= \begin{pmatrix} 3a(a-2) & 4a(a-2) \\ 2(a-2)(a-3) & (a-2)(3a-8) \end{pmatrix}
 \end{aligned}$$

$A^2 = O$ であるから $\mathbf{a} = 2$

別解 A にハミルトン・ケリーの定理を適用すると

$$A^2 - 2(a-2)A + (\det A)E = O \quad \dots (*)$$

$\det(A^2) = (\det A)^2$, $\det(A^2) = \det O = 0$ より, $\det A = 0$
 $A^2 = O$, $\det A = 0$ を (*) に代入して $-2(a-2)A = O$
 A の成分から $A \neq O$ であるから $a = 2$

(2) $A^2 = O$ より, $A^k = O$ ($k = 2, 3, \dots$) であるから

$$\begin{aligned}
 B^n &= (2E + A)^n = \sum_{k=0}^n {}_n C_k (2E)^{n-k} A^k \\
 &= (2E)^n + n(2E)^{n-1}A \\
 &= 2^n \begin{pmatrix} 1 & 0 \\ 0 & 1 \end{pmatrix} + n \cdot 2^{n-1} \begin{pmatrix} 2 & 4 \\ -1 & -2 \end{pmatrix} \\
 &= \begin{pmatrix} (n+1)2^n & n \cdot 2^{n+1} \\ -n \cdot 2^{n-1} & (1-n)2^n \end{pmatrix}
 \end{aligned}$$

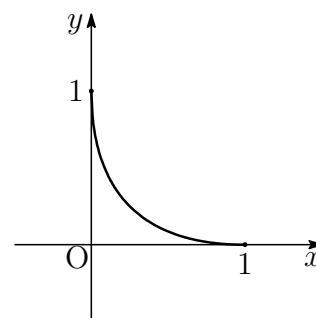
2 (1) $\sqrt{x} + \sqrt{y} = 1$ より $y = x - 2\sqrt{x} + 1$

ゆえに $y' = 1 - \frac{1}{\sqrt{x}}, \quad y'' = \frac{1}{2x\sqrt{x}}$

$0 < x < 1$ において,

$$y' < 0, \quad y'' > 0$$

よって, C は下に凸のグラフで, 右のようになる.



(2) $\sqrt{x} + \sqrt{y} = 1$ を x で微分すると

$$\frac{1}{2\sqrt{x}} + \frac{1}{2\sqrt{y}}y' = 0 \quad \text{ゆえに} \quad y' = -\frac{\sqrt{y}}{\sqrt{x}}$$

点 (a, b) における接線の方程式は ($0 < a < 1$)

$$y - b = -\frac{\sqrt{b}}{\sqrt{a}}(x - a) \quad \text{ゆえに} \quad \frac{x}{\sqrt{a}} + \frac{y}{\sqrt{b}} = \sqrt{a} + \sqrt{b}$$

(a, b) は C 上の点であるから, 接線 l の方程式は

$$\frac{x}{\sqrt{a}} + \frac{y}{1 - \sqrt{a}} = 1$$

よって x 切片 \sqrt{a} , y 切片 $1 - \sqrt{a}$

(3) 立体の体積を V とすると $V = \frac{1}{3}\pi(1 - \sqrt{a})^2\sqrt{a}$

ここで, $t = \sqrt{a}$ とおくと ($0 < t < 1$)

$$V = \frac{\pi}{3}(1 - t)^2t = \frac{\pi}{3}(t^3 - 2t^2 + t)$$

ゆえに $\frac{dV}{dt} = \frac{\pi}{3}(3t^2 - 4t + 1) = \frac{\pi}{3}(t - 1)(3t - 1)$

したがって, V の増減表は次のようになる.

t	(0)	...	$\frac{1}{3}$...	(1)
$\frac{dV}{dt}$		+	0	-	
V		↗	極大	↘	

よって $t = \frac{1}{3}$ すなわち $a = \frac{1}{9}$ のとき最大値 $\frac{4}{81}\pi$ をとる.

- 3 (1) 3点 $O(0, 0, 0)$, $P_k\left(\frac{k}{n}, 2 - \frac{k}{n}, 0\right)$, $P_{k+1}\left(\frac{k+1}{n}, 2 - \frac{k+1}{n}, 0\right)$ は xy 平面上の点であるから, $\triangle OP_k P_{k+1}$ の面積を S_k とすると

$$S_k = \frac{1}{2} \left| \frac{k}{n} \left(2 - \frac{k+1}{n} \right) - \left(2 - \frac{k}{n} \right) \frac{k+1}{n} \right| = \frac{1}{n}$$

- (2) $Q_k(0, 0, z_k)$ とおくと ($z_k > 0$), $P_k Q_k^2 = 4$ であるから

$$\left(\frac{k}{n}\right)^2 + \left(2 - \frac{k}{n}\right)^2 + z_k^2 = 4 \quad \text{これを解いて} \quad z_k = \frac{\sqrt{4nk - 2k^2}}{n}$$

よって $V_k = \frac{1}{3} S_k \cdot z_k = \frac{1}{3} n \times \frac{\sqrt{4nk - 2k^2}}{n} = \frac{\sqrt{4nk - 2k^2}}{3n^2}$

- (3) (2) の結果から

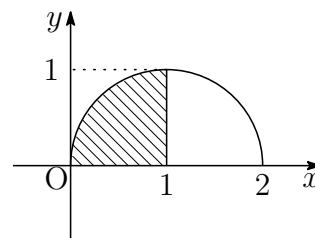
$$\begin{aligned} I &= \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^{n-1} V_k = \lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=0}^{n-1} \frac{\sqrt{4nk - 2k^2}}{3n^2} \\ &= \lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{3n} \sum_{k=0}^{n-1} \sqrt{4 \left(\frac{k}{n}\right) - 2 \left(\frac{k}{n}\right)^2} \\ &= \frac{1}{3} \int_0^1 \sqrt{4x - 2x^2} dx = \frac{\sqrt{2}}{3} \int_0^1 \sqrt{2x - x^2} dx \end{aligned}$$

- (4) $y = \sqrt{2x - x^2}$ とおくと

$$y^2 = 2x - x^2$$

ゆえに $(x - 1)^2 + y^2 = 1$

このとき, $\int_0^1 \sqrt{2x - x^2} dx$ は右の図の



斜線部分の面積であるから

$$\int_0^1 \sqrt{2x - x^2} dx = \frac{\pi}{4} \quad \text{よって} \quad I = \frac{\sqrt{2}}{3} \times \frac{\pi}{4} = \frac{\sqrt{2}}{12} \pi$$

$$\boxed{4} \quad (1) \quad P_1 = \frac{rC_4 \cdot 10C_5}{10+rC_9}, \quad P_2 = \frac{rC_4 \cdot 11C_5}{11+rC_9} \quad \text{であるから}$$

$$\frac{P_2}{P_1} = \frac{10+rC_9}{11+rC_9} \times \frac{11C_5}{10C_5} = \frac{2+r}{11+r} \times \frac{11}{6} = \frac{11r+22}{6r+66}$$

$$\text{したがって} \quad \frac{P_2}{P_1} - 1 = \frac{5r-44}{6r+66}$$

$$r > 9 \text{ であるから} \quad \frac{P_2}{P_1} - 1 > 0 \quad \text{よって} \quad P_2 > P_1$$

$$(2) \quad P_n = \frac{rC_4 \cdot n+9C_5}{n+r+9C_9}, \quad P_{n+1} = \frac{rC_4 \cdot n+10C_5}{n+r+10C_9} \quad \text{であるから}$$

$$\begin{aligned} \frac{P_{n+1}}{P_n} &= \frac{n+r+9C_9}{n+r+10C_9} \times \frac{n+10C_5}{n+9C_5} \\ &= \frac{n+r+1}{n+r+10} \times \frac{n+10}{n+5} = \frac{n^2 + (r+11)n + 10r + 10}{n^2 + (r+15)n + 5r + 50} \end{aligned}$$

$$\text{したがって} \quad \frac{P_{n+1}}{P_n} - 1 = \frac{-4n + 5r - 40}{n^2 + (r+15)n + 5r + 50}$$

$P_{n+1} > P_n$ が成り立つとき

$$-4n + 5r - 40 > 0 \quad \text{すなわち} \quad n < \frac{5}{4}r - 10$$

(3) $r = 50$ のとき, (2) の結果から

$$n < \frac{5}{4} \cdot 50 - 10 \quad \text{これをみたす最大の } n \text{ は } 52$$

$$\text{したがって} \quad P_1 < P_2 < \cdots < P_{52} < P_{53} > P_{54} > \cdots$$

よって, P_n が最大となる n は $n = 53$

5 (1) 与えられた方程式から

$$x^2 - x - 2 + (x^2 - 3x + 2)i = 0$$

$$\text{ゆえに } (x-2)(x+1) + (x-2)(x-1)i = 0$$

x は、実数であるから

$$(x-2)(x+1) = 0 \quad \text{かつ} \quad (x-2)(x-1) = 0$$

よって $x = 2$

(2) 真数は正であるから

$$4x - 7 > 0, \quad x > 0, \quad x - 1 > 0 \quad \text{ゆえに} \quad x > \frac{7}{4} \quad \dots \textcircled{1}$$

与えられた方程式から

$$\log_4(4x-7) + \log_4 x^2 = \log_4 4 + \log_4(x-1)^3$$

$$\log_4(4x-7)x^2 = \log_4 4(x-1)^3$$

$$\text{ゆえに } (4x-7)x^2 = 4(x-1)^3 \quad \text{整理すると} \quad 5x^2 - 12x + 4 = 0$$

$$\text{したがって } (x-2)(5x-2) = 0 \quad \text{これを } \textcircled{1} \text{ に注意して解くと } x = 2$$

(3) 円錐の体積を V とすると ($0 < t < 1$)

$$V = \frac{\pi}{3}(1-t)^2 t = \frac{\pi}{3}(t^3 - 2t^2 + t)$$

V を t で微分すると

$$\frac{dV}{dt} = \frac{\pi}{3}(3t^2 - 4t + 1) = \frac{\pi}{3}(t-1)(3t-1)$$

V の増減表は、次のようになる。

t	(0)	...	$\frac{1}{3}$...	(1)
$\frac{dV}{dt}$		+	0	-	
V		↗	極大	↘	

よって $t = \frac{1}{3}$ のとき最大値 $\frac{4}{81}\pi$

6 (1) $\tan A = \frac{4}{3}$ を $1 + \tan^2 A = \frac{1}{\cos^2 A}$ に代入すると

$$1 + \left(\frac{4}{3}\right)^2 = \frac{1}{\cos^2 A} \quad \text{ゆえに} \quad \cos^2 A = \frac{9}{25}$$

$\tan A > 0$ より, A は鋭角であるから, $\cos A > 0$ より

$$\cos A = \frac{3}{5}$$

また $\sin A = \tan A \cos A = \frac{4}{3} \times \frac{3}{5} = \frac{4}{5}$

(2) 外接円の半径を R とすると, 正弦定理により

$$2R = \frac{BC}{\sin A} = 6 \div \frac{4}{5} \quad \text{よって} \quad R = \frac{15}{4}$$

(3) $b = CA$, $c = AB$ とおくと, 余弦定理

$$a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A$$

に $a = 6$, $\cos A = \frac{3}{5}$ を代入すると

$$6^2 = b^2 + c^2 - \frac{6}{5}bc \quad \text{ゆえに} \quad 36 - \frac{4}{5}bc = (b - c)^2$$

したがって $36 - \frac{4}{5}bc \geq 0$ すなわち $bc \leq 45$

上式において, 等号が成立するのは $b = c = 3\sqrt{5}$ のときである.

よって, $\triangle ABC$ の面積は, $AB = 3\sqrt{5}$ のとき最大となり, その最大値は

$$\frac{1}{2}bc \sin A = \frac{1}{2} \cdot 45 \cdot \frac{4}{5} = 18$$